

日常的な感染予防活動を宣言

第61回広島県公衆衛生大会を開催

第61回広島県公衆衛生大会は、11月26日(木)にコジマホールディングス西区民文化センターで県内の公衆衛生推進委員など、例年の半数の270人が参加して開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの着用、検温、手指の消毒をして、県知事表彰、広島県医師会長表彰ならびに、地区衛生組織活動に多大なる貢献をした個人52人、団体7団体に、広島県副知事、広島県医師会長、環境協理事長からそれぞれ

の功績を称え、表彰状を贈呈しました(表彰者名は6面参照)。

式典の最後に大会宣言(案)を地区衛生組織代表者会議の今津議長が読み上げ、会場からの大きな拍手で採択されました。

今年の大会宣言は、世界的に新型コロナウイルス

ルス感染症がまん延したこともあり、従来の

ごみ減量、脱温暖化のまちづくり、防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動などに加え、「日常

的な感染症の予防活動(手洗い、うがい、マスク着用)の推進」を掲げ、公衛協が今後どのような役割を担っていくのかを盛り込みました。

大会宣言の8つの項目は、これから1年間の公衛協活動を行うための重要なテーマと

なります(6面参照)。

「コロナ対策の換気による休憩の後、「環境と健康のポスター・標語コンクール」優秀作品表彰式を行いました。今年度は最優秀賞と開催地の広島市近隣の市町の優秀賞を受賞した23人の児童・生徒が出席しました。

表彰式では、緊張しながらもしっかりと表彰状とトロフィーを受け取り、最後の受賞者全員での記念撮影は保護者

の記念撮影は保護者

や公衛協の皆さんに笑顔に向けていました。

選考委員長による講評

令和2年は誰も予想しない特別な年でした。新型コロナウイルス感染症防止対策の一斉休校後、環境と健康のポスター・標語コンクールに参加校がどれほどあるだろうかと心配しました。しかし、各地区公衆衛生協議会の皆さまと各学校の熱意により、ポスターは8千569

点、標語は1万4千289点もの応募があり、心よりお礼を申し上げます。

その中で、作品にも新しいものが出てきました。「ポイ捨てはやめよう」「自然を大切に」「3Rに取り組もう」「早寝早起きしよう」「歯磨きしよう」といった作品も多かったのですが、やはり、マスクに手洗い、ソーシャルディスタンスをテーマにしたものが目立つたように思います。また、レジ袋有料化からマイバッグをしよう」というもの、海洋プラスチックの問題を取り上げている作品も多くありました。このように今起きている問題を考える

最後にになりましたが、協会運営に引き続きご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆さまのご発展とご健康をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

2020年は新型コロナウイルス感染症にほんろうされた二年でした。一時落ちついていた感染者の発生が12月に入り急増しており、引き続き慎重な対応が求められております。

11月に開催しました第61回広島県公衆衛生大会では、大会宣言に「防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動の推進」に加えて「日常的な感染症の予防活動(手洗い、うがい、マスク着用)の推進」を掲げました。大規模自然災害発生時や、今回のような感染症が拡大する状況にあつて、公衆衛生を標榜して活動するそれぞれの公衆衛生推進協議会には地域を守るための積極的な取り組みが求められていると思います。公衆衛生推進委員の皆さまには、引き続き協力を賜りたいと存じます。

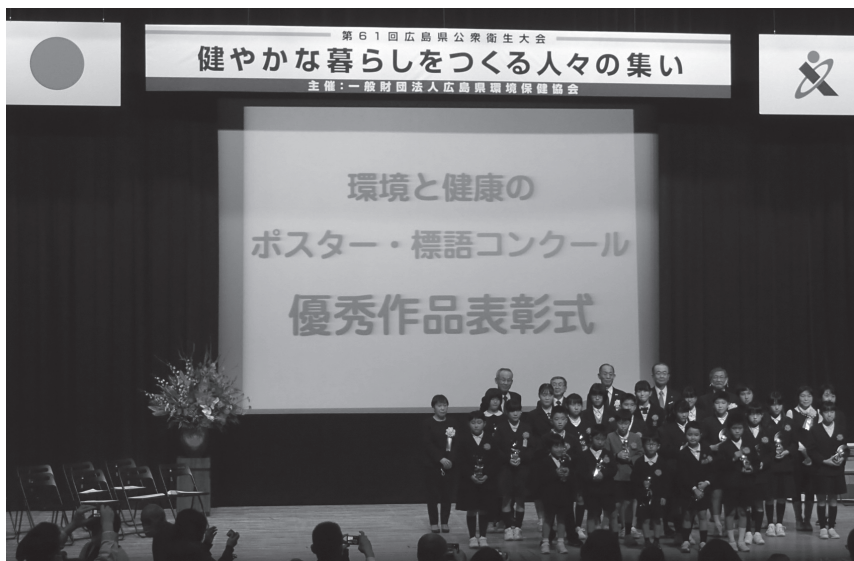
公衆衛生推進委員の皆さまを始め、環境と健康の課題に取り組んでいただいている皆さまには、平素から地域に根付いた活動を通じて、県民の健康づくりと住みよい環境づくりにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

あけまして
おめでとうございます。



理事長 佐藤 均

新年のご挨拶



受賞者、プレゼンター、選考委員の一同で記念撮影



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんぽきよう

検索

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。





防災・減災の行動変容

高い危機意識に基づく行動を!

コラム 住民活動と防災 (前)

山行などで、道すがら「土石流危険渓流」や「ごみ不法投棄禁止」などの注意喚起標識を多く見かけます。風景の中のそれらの存在に注意を傾け、現象が顕在化した場合の社会的な影響にまで意識を昇華させなければと気付かれます。まさに、私たちの危機意識への刺激として。

さて、近年の多発・広域・激甚化する自然災害に対して、行政などにより防災事例や新たな知見に基づく調査・検討が進められ、施設整備などのハードおよび情報周知や判断基準の提示などのソフトの両面の対策が多々講じられています。また、多くの被災状況の実態は、これらの対策が個人、地域、行政との共有と的確な行動によって、初めて機能するということを強く示唆してくれています。

人間の社会活動にお

いて、「絶対安全」が存在しないことは自明であり、安全・安心を担保するために、人々はそれに少しでも近づける努力を積み重ね続けています。しかし、近年「既往最大」「過去50年に例をみない」などで形容される「想定を超える(=設計外力の超過)」災害が頻発しており、私たちは、持つている知見の枠外の事象が発生したと冷静に考え、前例にとらわれず的確に行動することが極めて重要だということに再認識する必要があります。

その前提として、対策は金科玉条ではなく、ある想定・条件の上に作り上げられた「術」だということ、また多くのリスクを含んでいるということの正しい理解が必要で、その理解と危機意識という感性が、行動の必然に結びつき、と

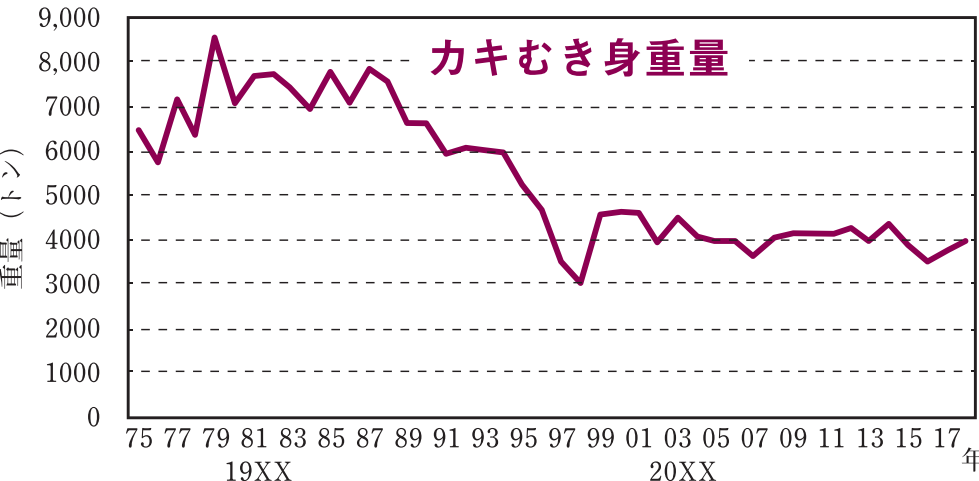
かく陥りやすい「正常化の偏見(=正常性バイアス)」による安易な自己判断や行動を排除できる可能性が高くなると思っています。

ここで大切なことは、個人の感性のバラツキを組織で補うこと、つまり住民組織での共感や活動が鍵を握ることです。健康・環境づくりにおける地域の連帯と行動の起爆材として機能している公

(経営顧問 末國光彦)



いかだの下に吊るされるたくさんのホタテの貝殻にカキを付着させて育てる。



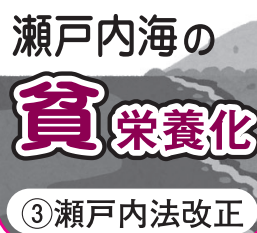
広島市域カキ養殖生産量の推移。広島農林水産統計年報 (中国四国農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/chushi/kohoshi/kankoubutu/34hiroshima/index.html>) より引用

広島県は瀬戸内法の改正にともない、2016年に県の計画を立てました。環境省は海域ごとに「きめ細かな」対策を立てるようなどの指示を出していますので、西部(広島湾)、中部、東部の3つの海域ごとに協議会が設けられました。しかし、例えば広島湾については、持続的な力キ養殖を行うために、どのような取り組みを行うのかの具体策は明確にされないまま5年が経とうとしています。

今年(2020年)3月に国の中央環境審議会(中環審)答申が出され、県計画における具体的な取り組みをロードマップとして示すことが述べられましたので、5年目に当たる来年2021年中には、県計画を具体化しないといけません。

中環審答申には、あらゆる施策を「同時並行」で行うようにも述べられていますので、カキ養殖を持続的に営むために、下水道の管理運轉その他マルチな対策を盛り込む必要があります。広島県・広島市のブランドであるカキの生産維持のため、今回の県計画の改定については大きな期待がかかっています。

(環境生活センター 技術顧問 山本民次)



2015年に大幅改正された瀬戸内海環境保全特別措置法、いわゆる「瀬戸内法」では、「豊かな海」を目指すこ

衆衛生推進協議会の活

動のように、強靱な国土形成につながる防

災・減災への取り組み

に多くの人々が参画し、それが有事において確実に機能するよう、平時でのさらなる住民活動の強化が急務だと思っています。

私たちは、コロナ禍

で学んだ行動変容による対処の大切さに思いを致し、激甚的な集中豪雨による洪水や土石

流、近い将来発生が予

測される南海トラフ巨

大地震など、そこに迫

っている危機に対して

住民、地域、行政が一

体となり、自律・自発

的な行動を起こす時期

ではないでしょうか。

豊かな海へ湾・灘ごとの取り組みを

県は3海域に協議会を設置

今年度より、広島大学名誉教授の山本先生が当協会技術顧問に就任されました。数回にわたりご専門の「瀬戸内海の貧栄養化」についてお話しいただきます。

とになりました。「豊かな海」とは、言い換えれば「魚介類が獲れる海」です。環境省は法律の改正を行いました

たが、瀬戸内海は湾や灘ごとに環境条件や生

息生物が違いますので、それらの特徴を踏まえて個別に取り組みを行うのは各県の仕事

です。

例えば、大阪府は大

阪湾の奥部の水質改善

のため、窒素やリンの

負荷量削減を継続して

いますが、隣の兵庫県

の播磨灘ではノリ養殖

やイカナゴの漁獲が大

きく減少しているの

で、下水道の管理運轉

により海域に栄養塩を

出す

さらに、近年では親

ガキの成長不良に加

え、種苗(付着幼生)

が期待通りに取れない

という、これまでにな

い経験もしました。こ

れは少雨により陸から

の栄養分が海に届かな

いことが原因している

ことは明らかで、この

まま天候に左右される

状況を毎年続けること

に漁業者は大きな不安

を抱えています。カキ

の種(幼生)は生まれ

ることも原因の一つに

あげられます。漁業者に

聞くと、以前は2年で

出荷できていたものが、

近年では3年間養殖し

ないと出荷サイズにな

らないということです。

ガキの成長不良に加え、種苗(付着幼生)が期待通りに取れないという、これまでにな

てから2週間ほど海水中を漂ってから「何か」に付着します。漁業者は採苗の際にその「何か」としてホタテの貝殻を使います。

今年(2020年)3月に国の中央環境審議会(中環審)答申が出され、県計画における具体的な取り組みをロードマップとして示すことが述べられまし

コロナ禍の公衛協活動を取材

新型コロナウイルス感染症により、様々な行事が中止、延期となるなか、感染症対策をし、実施された活動の取材に伺いました。

おのみちしぐさCOOL CHOICE編

大学や行政と連携した啓発活動

尾道市公衛協

11月8日、尾道市公衛協主催の令和2年公衆衛生活動功労者表彰式と合わせて、『おのみちしぐさCOOL CHOICE編』が発表されました。

今年5月に尾道市ではCOOL CHOICE宣言が行われ、市と尾道市立大学、公衛協などが連携して脱温暖化の啓発活動が進められています。活動のキャラクターにハクセンシオマネキを用いており、砂浜に絵

を描いたデザインが目を引きまします。クールビズやウォームビズ、エコドライブ、宅配を1回で受け取るなど7つの項目を重点的にPRして、省エネ・脱温暖化のCOOL CHOICE(E賢い選択)へ広島弁を交えて呼びかけています。

『おのみちしぐさCOOL CHOICE』は、尾道市公衛協が、市と尾道市立大学、公衛協などが連携して脱温暖化の啓発活動を進められています。活動のキャラクターにハクセンシオマネキを用いており、砂浜に絵

を描いたデザインが目を引きまします。クールビズやウォームビズ、エコドライブ、宅配を1回で受け取るなど7つの項目を重点的にPRして、省エネ・脱温暖化のCOOL CHOICE(E賢い選択)へ広島弁を交えて呼びかけています。

『おのみちしぐさCOOL CHOICE』は、尾道市公衛協が、市と尾道市立大学、公衛協などが連携して脱温暖化の啓発活動を進められています。活動のキャラクターにハクセンシオマネキを用いており、砂浜に絵

令和2年度ポイ捨て防止活動

のぼり・看板で通勤車両に啓発

府中市公衛連

10月22日、府中市の広谷町信号機北側の交差点で、府中市・公衛連・グリーンパトロールが連携して、ポイ捨て防止を呼び掛ける取り組みが行われました。

朝7時から1時間、雨が降る中で関係者がのぼりや看板を持ち、通勤時間帯の車両に向けてポイ

捨て防止を呼びかけました。この取り組みは3年目で、工業団地にかかる道沿いのクリーンアップを目的に始められました。啓発の後には、清掃活動の予定でしたが、コロナ禍の中で体調不良者は出せない、清掃活動は中止になりました。

これまでの活動で、ポイ捨てごみは減少しつつありますが、無くなっているのが現状です。夏は清涼飲料水のペットボトル、冬はコヒーの空き缶が増え、1年を通して弁当の容器などが捨てられているとのこと。

府中市公衛連では、この不法投棄対策を市内全域で取り組むため、「見えますよ!不法投棄抑止の地域づくり事業」を各地域に案内し、地域の環境美化を促進しています。



展示した COOL CHOICE パネルを見る来場者 (右)、交差点で行きかう車両にポイ捨て防止をPR (左)

TEAM MATE ひろしまグループ活動紹介

TEAM MATE ひろしまは、複数の協議会が共通のテーマと一緒に取り組む事業「グループ活動」を4つ進めています。

今年度は、それぞれのグループ活動の紹介と活動PRを目的に動画を作成しています。その動画は、2月に開催する脱温暖化推進員フォーラムで発表する予定です。

エコクッキング

5つの地域協議会が活動し、「調理」だけでなく、買い物や調理手順、片付けなど、食に関する一連の行動に係るエネルギー消費について考え、工夫し、環境と家計にやさしい行動の普及に取り組んでいます。

11月に実施した調理実習(写真右)では、保温調理の「肉じゃが」、食品ロス削減の「エコのみ焼き(お好み焼き)」、非常時調理としてポリ袋で炊く「ご飯」を作りました。



光熱費節約大作戦!

暮らし方の工夫で楽しく省エネを実践し、その結果を「電気使用量の数値」で確認する、環境家計簿運動を県民に広め、省エネ活動の普及を図ることを目的として、9つの地域協議会が活動しています。

10月に開催したグループミーティングでは、パナソニックリビングショールーム広島で、住宅照明、エコキュート、太陽光発電、蓄電システム、HEMSなど、最新のエコ住宅設備を見学しました。モデルルームでは、停電状態にして、蓄電システムを稼働させ家電への電気供給を体験しました。

住宅設備に関する省エネの取り組みは、省エネ効果、CO₂削減効果が大きく、関心の高いテーマのため、実際に見て体験していただくことで、今後の省エネ活動につながっていきます。

クン炭拡大プロジェクト

もみ殻クン炭は苗づくりや土壌改良、堆肥づくりに古くから利用されてきました。炭は分解しにくいので、耕作地にすき込めば、稲が吸収した二酸化炭素を地中に封じ込めることになり、地球温暖化対策として有効です。

このグループ活動では、4つの地域協議会が活動しています。

動画では、クン炭作りの様子の他、地域協議会エコ INN くらせの小原義昭さん(写真右)が、「脱温暖化だけでなく、街づくりにつなげて、クン炭を作る人を育て、クン炭を使っていただく人を増やしたい」と生産者の思いを話しています。

利用者の森本てるみさんは、「クン炭を利用して3年目となるが、使用感悪くない。捨てられているもみ殻を材料としてクン炭を作り、みんなが安心して使えるようになればいいと思う」と話されました。

都市部では「もみ殻クン炭」を知らない人もいるので、動画を用いてクン炭のPRとともに、農家や家庭菜園、園芸などで多くの方に使っていただけるよう、利用者の拡大につなげていきます。



冷蔵庫調査

一般家庭で最も電気を消費する冷蔵庫を対象に、消費電力量を調査し、買い替えや使い方で省エネの普及につなげることをねらいとして、5つの地域協議会が活動しています。

11月に実施した動画の撮影会では、サイエンスホーム広島店「広島木の家」で、高気密・高断熱住宅を見学し、身体と環境にやさしい住宅を体験しました。また、午後からは、家庭で手軽にできる断熱の方法を情報交換しましたが、かんきょう会議浮城の村上純子さんから出た、DIYで作る「ソーラーヒーター(太陽熱集熱パネル)」の情報には参加者一同興味深く、質問をしていました。

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に『認証マーク』を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。



■業務の内容は？
スーパ一の総菜や出し弁当・給食・病院食などで利用されるカット野菜の加工や即席みそ汁などの具材の盛り付けなどを行っています。それに加えて、野菜の水耕栽培なども行っており、微生物や異物混入のリスクを下げた原材料を取り扱っています。



■認証を受けようと思つたきっかけは？
安全安心な食品をお届けしようと思った時、「原材料を作る」とことと「HACCP認証」は必要と感じていました。

安全安心な食品のお届けへ 衛生管理の知識や意識の統一を

■自ラ設定した衛生管理のポイントは？
冷凍食品と生鮮食品を扱うため、温度管理、鮮度管理には特に気を付けています。自社配

送を行うことで、搬入から加工、配送まで適正な管理が行えるよう徹底しています。
■認証取得の成果
取得に際しては、品質管理部門だけではなく、社員と共に衛生管

食品製造を行う当社のお客様からも衛生管理を、より強化したいという要望が多くなっています。当社としては、誰の目から見ても適切な衛生管理を実施しているということ

微生物について以前より話題に出るようになり、意識が上がりつつあると感じています。
■お客様へ
表に出ない黒子としての業務が中心ですが、最終的に食品を口にするお客様が、安心して召し上がれるよう、食品に携わる者として責任をもって加工しています。また、より多くの原材料を作るため、今年度、福山市神辺町に農園も作りま

した。製造から加工、お届けまで一貫して自社ができればと考えております。
インタビュー：高橋 記事：馬場田

金属と金属をくっつける「アーク溶接」をご存じでしょうか。空気中の放電現象を利用して同じ金属同士を接合するものです。自動車や鉄道車両、航空機などに利用され、鉄鋼をはじめとし、アルミニウム、チタンなどに使われています。

このアーク溶接作業では、高温で生じ



それでは、どのような措置が義務付けられるのでしょうか。代表的なものには、①溶接ヒュームの濃度の測定、その結果に基づく呼吸用保護具の使用及びフィットテストの実施、②特定化学物質作業主任者の選任、③特殊健康診断の実施などの措置があります。このうち、

金属アーク溶接等作業

濃度の測定が義務化 労働者の健康被害防止へ



た蒸気が空気中で凝固した「溶接ヒューム」という粒子状の物質が発生します。溶接ヒュームの粒径は0.1～1μm程度で、コロナウイルスと同じくらいの極めて小さな粒子です。この溶接ヒュームは、主に呼吸により労働者の体内に取り込まれ、発がん性や神経障害等の健康被害を及ぼすおそれがあることがわかってきました。

厚生労働省では、令和3年4月1日から金属アーク溶接等作業について健康障害防止措置を義務付けました。溶接ヒュームが特定化学物質として新たに位置付けられることになったのです。

現在、継続して金属アーク溶接等作業を行っている屋内作業場は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年の間に溶接ヒュームの濃度の測定を行う必要があります。溶接ヒュームの濃度の測定についてご不明な点がございましたら、ぜひお問い合わせください。

(環境調査課 八島詳)

総務課長の 健診結果改善プロジェクト2020

人間ドックまでラストスパート

項目	単位	3月	7/21	10/7	11/30 健診	目標値	基準値
体重	kg	68.3	68.5	67.2	↓減 66.9	66.0	-
腹囲	cm	84.4	91.0	90.0	↓減 86.5	82.0	84.9以下
BMI	-	23.9	24.0	23.5	↓減 23.4	-	18.5-24.9
肝機能	GOT	23	30	-	↓減 22	-	30以下
	GPT	33	36	-	↓減 23	30	30以下
	γ-GTP	223	233	-	↓減 177	100	50以下

【本人の改善目標】
体重、腹囲は順調に減少し、見た目もスマートになったのではな

いかと思っています。今回の最大の改善点は肝機能です。すべての数字

が改善しました。やはりコロナ禍でアルコールの摂取量が減ったのが要因だと思っています。一方、糖代謝の数字が悪くなっているのは気になる

です。2月の人間ドックまで、ラストスパートです。これまでの取り組みに加えて、次の2点を心がけ、目標達成に向けて頑張ります。

①「コロナ禍の最中でもある、外での飲み会になるべく行かない。」
②「もっと歩く階段利用の促進、通勤時の徒歩区間を伸ばす。」

【保健師のコメント】
糖尿病になりやすい因子は、肥満、運動不足、糖質の取り過ぎ、喫煙などです。栄養面の見直しで改善を図り、ご自身なりに成果が見えてきましたので、運動面も視野に入れていきましょう。身体活動には、特定の運動によるものと、仕事や通勤など日常生活におけるものがあります。身体活動の積み重ねが糖尿病予防に有効です。断続的でよいので、習慣化しやすい日常生活での活動量を増やしましょう。糖質のとりすぎを防ぐために、アルコールや間食削減についても、気が緩まないように。飲み過ぎて水(チエイサー)を注文してあげてください。

下痢には急性と慢性があります。

急性の下痢の多くはウイルスや細菌が原因です。ウイルス性ではノロウイルスが最も多く、細菌性ではカンピロバクターが半数以上といわれています。

ノロウイルスは冬に増加し、潜伏期間は1～2日

で吐気やおうとを伴います。カキなどの生の二枚貝

や感染した人の手を介して少量(10～100個のウイルス)でも感染します。

カンピロバクターは潜伏期間が2～5日で、下痢になる前に発熱が先行することがあり、インフルエンザと間違えられることがあります。

感染の原因は主に生の鶏肉ですが、焼き鳥などでは肉と肉の間の加熱が不十分な場合にも感染します。これらの予防としては食品の十分な加熱と手洗いや調理器具の消毒が大事です。一方、新型コロナウイルス



でも下痢の症状が出る場合がありますが、感染経路は主に感染者の咳や会話により生じる空気中のひまつを吸い込むことです。潜伏期間は平均5日なので、数日前にマスクなしで会話していないか思い出する必要があります。このウイルスの最も効果的な感染対策は話す時は必ずマスクをつけることです。

慢性の下痢では冷えが原因のことがあります。西洋薬では、

主に腸の蠕動運動(ぜんどううんどう)を抑えることで下痢を止めますが、冷えを治す薬はありません。

漢方薬には体を温める生薬(乾姜、カンキョウ、附子、ブシなど)があります。処方例では人参湯(ニンジンとう)や真武湯

(シンブとう)など薬局でも購入できます。また消化管からの水分を吸収する薬や、下痢時の胃腸のけいれんによる痛みを和らげる薬もあります。慢性の下痢でお悩みの方はご相談ください。

(健康科学センター 診療所長 武生 英一郎)



急性と慢性の下痢 ウイルスや細菌、冷えが原因

話題の健康づくり
アラカルト

35 健診受診者数

受診抑制により受診率が低下

1割の未受診者が発生する可能性も

皆さんは今年健康診断を受診されましたか。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受診機会を逃したり、大勢が集まる場所には

行きたくないとのお気持ちで受診抑制につながっているなど健診受診率の低下が問題視されています。

1月から9月期の健康診断受診者数は約1400万人で前年同期より約700万人減少していました。緊急

事態宣言期間中の4月・5月の落ち込みは対前年同期比8割減となり、その後は回復傾向にあるものの、1・2割減の状況です。今後この傾向が続けば、



(一社)日本総合健診医学会と(公社)全国労働衛生団体連合会が公表している会員機関(全国180機関が回答)へのアンケート調査結果では、令和2年

病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第2位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人ががんにかかる可能性があり、

今年度末までに約1割の未受診者が発生する可能性が示唆されています。健康診断の目的は、

早期発見で適切な治療を受けることが重要です。早期発見にがん検診の果たす役割は大きく、検診やその後の受診機会を逃すことで進行がんが増えるリスクが懸念されます。生活習慣病に関しても検査結果の変化をとらえ、

正常高値や境界域にある時から生活改善を行えば少しの努力で予防につながります。在宅勤務や外出の自粛などコロナ禍で生活様式が変わり健診結果に影響がみられる方も多いようです。新型コロナウイルス

健康診断の目的は、病気の早期発見と予防への早期介入です。日本人の死因の第2位(年間約37万人が死亡)であるがんは、一生のうち2人に1人ががんにかかる可能性があり、

今年度末までに約1割の未受診者が発生する可能性が示唆されています。健康診断の目的は、

早期発見で適切な治療を受けることが重要です。早期発見にがん検診の果たす役割は大きく、検診やその後の受診機会を逃すことで進行がんが増えるリスクが懸念されます。生活習慣病に関しても検査結果の変化をとらえ、

正常高値や境界域にある時から生活改善を行えば少しの努力で予防につながります。在宅勤務や外出の自粛などコロナ禍で生活様式が変わり健診結果に影響がみられる方も多いようです。新型コロナウイルス



30 禁煙支援ネットワーク

県民の健康を守ることを目的に

禁煙に関する支援活動を継続

平成14年4月、県民・市民の健康を守るための行動計画として、「健康ひろしま21」と「元氣じゃけんひろしま」を策定し、健康づくり運動を総合的に推進していくこととしました。

このような中、たばこの害から県民・市民の健康を守ることを目的として、広島県医師会、広島県薬剤師会、広島県看護協会、広島県環境保健協会の6団体が連携し、同年の8月に本ネットワークを設立しました。

ネットワーカーの運営は運営委員会が担っており、現在の運営委員長には日本赤十字広島看護大学名誉教授の川根博司先生に就任いただいています。

今年度は「防災・減災コース」「広報・ツールづくりコース」を

毎年、市市民や医療関係者を対象に、禁煙

今年度の研修会は見送りとなりましたが、引き続き禁煙に関する支援活動を継続し、皆さまの健康づくりに貢献していきます。



・スモークフリー・防

(企画調整課 石本雅清)

知識・技術の向上に

専門研修の活用を

環境協では、公衆衛生推進委員の専門的な知識・技術の向上を目的に環境づくり、健康づくりに関する「専門

研修」を実施しています。今年度は「防災・減災コース」「広報・ツールづくりコース」を表

のとおり実施予定です。どの研修も推進委員として基礎的な知識や技術を、学べるものとなっています。ぜひ、ご参加いただき、地域の健康で住みよいまちづくりや公衛協の周知に生かしてください。

「防災・減災コース」

- 西部会場(環境保健協会)
令和3年1月14日(木)
10:30～16:00
- 東部会場(環境協東部支所)
令和3年1月15日(金)
10:30～16:00

「広報・ツールづくりコース」

- ～たより・チラシ編～
- 西部会場(環境保健協会)
令和3年2月18日(木)
10:30～16:00
- 東部会場(環境協東部支所)
令和3年2月19日(金)
10:30～16:00
- ～Facebook編～
- 環境保健協会
令和3年2月20日(土)
10:30～16:00

県大会表彰者・感謝状受賞者一覧

第61回広島県公衆衛生大会で、表彰をされた個人・団体は次のとおりです。

広島県知事表彰

【公衆衛生地区組織活動功労】

団体の部…西藤地区公衆衛生推進協議会

(尾道市)

個人の部…佐々木博

(広島県医師会、岸

田卓也、小田秀幸、

吉澤秀雄、佐々木義

則、伊藤七重(広島

市)、三吉繁夫(福山

市)、松下信之(府中

町)

【健康増進栄養関係功

労】

団体の部…大竹市食

生活改善推進協議会

(大竹市)

個人の部…高橋玲子

(尾道市)

【母子保健活動功労】

田村裕(広島県医師

会)、木合和夫(広島

市)

【歯科保健活動功労】

小田正秀、福原健治

(広島市)

【広島県医師会長表彰

区】

向島地区公衆衛生推

進協議会岩子島地区

(尾道市)

【広島県環境保健協会表彰

区】

【地区衛生組織活動功

労者】

本川将、木川照子、

戸谷哲也(府中町)、宮馬恒夫(海田町)、西本恵美子(熊野町)、高木哲志(坂町)、濱本耕二(江田島市)、加藤孝美、山口和子(廿日市市)、森原勝美(廿日市市大野)、石井健二郎、土居寛能島昇三、福光敏治(東広島市)、松井利彰、高田昭夫(三原市)、吉本由美子(世羅町)、光井澄登、胡本哲男、村上修一(尾道市)、小林乙也、金本和美、小林邦弘、山崎努、千葉昭吾、園尾晃一(福山市)、木下善雅、眞田正一、小川正夫、西永次良(府中市)、野白利彦、熊本光征(三次市)、山上文恵、原田敏信、齊藤晴彦、橋本民夫(呉市)

【地区衛生組織活動優良団体】

津名地区公衆衛生推進協議会(世羅町)、三軒家北町内会(尾道市)、宮原3丁目自治会(呉市)

【地区衛生組織活動育成功労者】

花田博義、大上利太(府中市)

【環境と健康の「ミニ」ティ大賞】

大崎上島町公衆衛生推進協議会(大崎上島町)

県大会で入選作品を展示

「瀬戸内海環境保全推進ポスター原画展」を併設



瀬戸内海のポスター原画(上)と記念撮影する児童・生徒(右)



環境と健康のポスター・標語コンクールは毎年、広島県公衆衛生大会の場で、入賞作品の展示を行っています。今年度は、会場のギャラリーを使用して、作品の展示を行いました。受賞者の児童・生徒は自分の作品の前で記念撮影をする姿が見られました。

大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、行政や他団体と協働しつつ、自主的・組織的なコミュニティ活動をとおり、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。

近年、気候変動による甚大な自然災害が発生する状況に加え、今年は新型コロナウイルス感染症という災禍に見舞われ、私たちの暮らしが大きく変わろうとしています。

私たちは、人々がより快適で健やかに暮らせる活力あるコミュニティの実現をめざし、地球温暖化やごみ問題、生活習慣病の予防に取り組むとともに、感染症予防対策や災害時における公衆衛生活動の推進に努めることが求められます。

そこで、『健やかな暮らしをつくる人々の集い』をテーマに開催するこの大会を契機に、次の8つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

- 一、日常的な感染症の予防活動(手洗い、うがい、マスク着用)の推進
- 一、防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動の推進
- 一、生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
- 一、住民・行政・事業者の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 一、生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
- 一、ごみ減量に向けた3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進
- 一、世代を越えた健康学習・環境学習の推進
- 一、上記の7つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

令和2年11月26日

第61回広島県公衆衛生大会

健康クリニック

予防医学事業中央会奨励賞



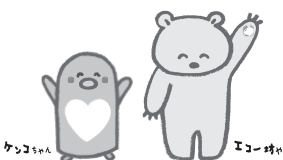
当協会・健康科学センターの富士田亮介(巡回健診課)(下写真・前列右から2人目)が「予防医学事業の実務に10年以上従事し、他の範となりさらに今後の活躍を期待する者」として(公財)予防医学事業中央会の「予防医学事業中央会奨励賞」を受賞しました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で表彰式が中止となりましたが、当協会では理事長より手交しました。

協会役員一同、富士田課長補佐の今後の活躍に期待します。

また、今回は当協会が会員として参画している(一社)瀬戸内海環境保全協会が実施する「瀬戸内海環境保全推進ポスター原画展」

も同時に開催し、瀬戸内海の環境に対する思いや守りたい瀬戸内海の環境について表現した作品12点の展示も併せて行いました。

令和2年度地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和2年度で61回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)

43,864,769円

(令和2年度年間実績)

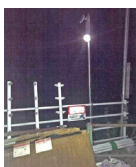


募金の使途 (公衛協配分金)

【環境づくり】

- ・リサイクル活動の推進
- ・生活空間の美化活動
- ・脱温暖化のまちづくり
- ・不法投棄対策
- ・防災・減災の活動
- ・環境啓発

見えますよ！不法投棄の地域づくり事業の一例



江田島市公衆衛生推進協議会

ごみステーションに、提供グッズのカメラ(本物・ダミー)と警告看板を設置した。

市町別一覧表

※この表は、令和2年11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,251,100	78.4
海田町	2,187,100	90.0
熊野町	1,411,400	99.0
坂町	0	0
江田島市	1,731,100	97.9
竹原市	0	0
大崎上島町	310,900	98.5
大竹市	2,300,000	93.6
廿日市市	3,088,960	92.1
廿日市市大野	2,104,501	81.2
廿日市市佐伯	357,600	98.6
廿日市市吉和	0	0
廿日市市宮島	179,100	94.5
安芸太田町	0	0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	989,200	95.8
安芸高田市	1,918,900	93.6
東広島市	3,873,700	91.9
三原市	1,243,115	82.4
世羅町	510,220	63.4
尾道市	3,839,490	85.9
福山市	8,084,860	90.0
府中市	1,056,500	97.4
神石高原町	0	0
三次市	1,459,701	63.4
庄原市	2,056,676	87.3
呉市	3,844,300	98.3
その他	66,346	92.2
合計	43,864,769	83.8